

【山口市】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

学校・保護者・地域・関係機関が連携して危機管理について学ぶとともに、避難所での生活体験を通して、児童生徒が災害発生時において、正しい知識をもとに的確に判断し安全に行動できる力や地域に貢献できる心と実践力の育成を図る。



実施内容

- 1 実施日時：令和元年8月10日（土）・11日（日）
- 2 実施場所：大内地域交流センター
- 3 参加者：大内小学校児童5人、大内南小学校児童10人、未就学児2人、関係保護者6人
学校教職員5人、地域住民13人、市教育委員会1人、県教育委員会1人

4 プログラム

【1日目】8月10日（土）

14:00 14:15 14:30 15:20 15:30 16:20 16:30 17:10 17:30 18:10 18:40 19:30 20:00 21:10 21:30

受 付	開 会 行 事	講話1 「避難所生活での 心得等について」	グループ 活動1 「HUG」 避難所運 営ゲーム	給水体験 活動 給水車に よる給水 体験	夕 食 準 備	ロープ ワーク 1	夕 食	ロープ ワーク 2	寝 床 づ く り	グループ 活動2 避難所生 活のルー ルづくり	就 寝 準 備	就 寝
--------	------------------	-----------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	------------------	-----------------	--------	-----------------	-----------------------	-------------------------------------	------------------	--------

【2日目】8月11日（日）

6:00 6:30 7:30 8:00 9:00 9:50 10:00 10:50 11:00 11:15

起 床 ・ 洗 面	ラ ジ オ 体 操	朝 食	実習1 土のうづくりと 運搬体験	講話2 「大内地区における 過去の災害の様子」	実習2 救急救命法の 講習	振 り 返 り	閉 会 行 事	解 散
-----------------------	-----------------------	--------	------------------------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	--------

5 活動の様子

1日目

《避難所生活での心得等についての講話

講師：山口市大内在住の防災士》



《「HUG」避難所運営ゲーム》

《給水体験 協力：山口市上下水道局》



《ロープワーク 協力：ボーイスカウト山口第3団》



《寝床づくり》



《避難所生活のルールづくり》



2日目

《土のうづくりと運搬体験》



《大内地区における過去の災害の様子の講話

講師：山口市大内在住の元自治会長》



《救急救命法講習 講師：山口市中央消防署大内出張所》



【児童・保護者の感想から】

- 普段できないことが体験できて、もし何かが起こった時に役に立たせたいと思った。(小3女子)
- いろいろ楽しかったことがあって良かったです。どんな人をどこに避難させるかを考えた避難所運営ゲームはとても考えました。ロープのいろいろな結び方や、段ボールでの寝床の作り方、土のうの作り方、AEDの使い方を学びました。土のうはとても重かったです。(小4男子)
- ロープワークのプリントに載っていた結び方が少し難しかった。応急手当は人の役に立つんだなと思った。AEDの使い方が分かって良かった。(小4女子)
- 避難所生活で大切なことがたくさんあることが分かった。特に避難所運営ゲームが楽しかった。またゆっくり考えてみたい。(小5男子)
- 避難所生活のルールづくりで他の人に迷惑をかけないようにすることが大切であることが分かりました。寝床づくりでみんなと協力できてよかったです。(小5女子)
- スタッフの方や友達がいろいろ教えてくれてすごうれしかったし、新しい友達もできて楽しかったです。また、避難所での過ごし方やルールも覚えられました。家でも、いつ災害が起きてもいいように、準備しておきたいと思いました。とても楽しかったです。(小5女子)
- 今後災害が起きた時のためのことがたくさん体験できてよかった。朝ご飯がおいしかった。避難所運営ゲームがとても楽しかった。寝床づくりが楽しかった。暑くてなかなか眠れなかったが、畳にしたら気持ち良かった。和室というのが落ち着いてとても良かった。(小5女子)
- 講話による災害への理解ができた。災害時の避難所生活を体験できたことやたくさん内容は良かったと思う。でも、小さい子でも分かる・できる内容を少し増やしても良いと思う。今まで分からなかったことを知ることができた。(小6女子)
- 10年前に大内であった災害の話聞いて驚きました。今年は10年目ということで大きな災害が起きるかもしれないことが知れて良かったと思います。(小6女子)
- 短い時間でありながら、大変深い内容を学び、体験させていただき、参加して良かったです。実際よりも贅沢な避難所体験でしたが、心得を学ぶこともできました。日頃から家族で災害に対する話をする、共通認識の基で生活できるようになりたいと感じました。(保護者：母)
- 災害、避難について学び、考えることができて良かったです。給水体験や段ボールでの寝床づくりも初体験でした。実際に子連れで体験できて良かったです。(保護者：母)